

桜木東だより

校訓
夢をもち
よく学び
よく遊び
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.27

発行日 令和7年2月5日

校長 片山 明光

【学校教育目標】 夢をもち 人間性豊かで たくましく 創造的に生き抜く児童の育成

楽しかった「昔遊び」、「学校を核とした地域づくり」を目指して

1月29日に地域の方14人に来校していただき、1年生の「昔遊び」を行いました。お手玉、けん玉、折り紙（紙パン）、割りばし鉄砲、竹とんぼ、竹カッポの6種類の遊びをローテーションしながらの体験でした。気温が低くとても寒い中、体育館とその周辺で行いましたが、子どもたちは楽しそうに何度も挑戦していました。1種目の時間はそう長くはなかったのですが、何度も挑戦するうちにすぐに上達していく子どもたちもいました。前号の「門松づくり」や「どんどこ」の時にも感じたことですが、このような機会があることによって、世代間交流が深まり、日本の伝統文化が次の世代にうまく継承されていくんだと思いました。また、今の子どもたちはスマホやゲームに遊びの部分でかなり頼っていると思っていますが、今回のような昔遊びを体験することによって、外遊びの楽しさや自然環境にも興味が出るのではないかとも思いました。また、終了後には1年生教室で給食を一緒に食べてもらいました。地域の方々もとても楽しそうに子どもたちとおしゃべりをしていただきました。そんな様子を見ながら、子どもたちにとってはいろいろな知識や経験が与えられ、家庭では経験が難しい高齢者の方々との交流もできていると感じました。また地域の方々にとっても適度に体を動かしたり、やりがいを感じたりしていただけるのではないかと思います。このような取り組みを広げ、継続していくことによって、国が目指している「学校を核とした地域づくり」につながっていくのではないかと思います。



お手玉です



竹とんぼを飛ばしています。これも最初は難しい。



竹カッポで歩いています。楽しそうです。



割りばし鉄砲です。当たるとうれしいです。



なかなか難しいけん玉です。中にはコツをつかんで上達した人もいました。



教室で一緒に給食です。1年生がたくさん話しかけます。

「さようなら」田上先生、「お世話になります」松下先生

4月から高学年の算数専科の授業でお世話になっていました田上先生の勤務が1月末までとなり、1月31日の昼の放送で退任式を行いました。田上先生には算数の授業を楽しくわかりやすくしていただき感謝しています。宿題も子どもたちがやってみたくなるようなものを出されていて、楽しみながら取り組んでいたとも聞いています。田上先生は最後のあいさつで、子どもたちに「勉強を頑張ること」「読書をする事の大切さ」を話されました。多くの方が「若いころ勉強しておけばよかった」と思っていること、また読書をすることで知識や想像力が身につくことなどを話されました。また、午後からは6年生と田上先生の得意なドッジボールを楽しまれて、本校を後にされました。

2月3日からは約2年間子育てのために休みを取られていた松下先生が復帰されました。今の中学1年生を5年生の時に担任されていたということで、中学1年にお兄さん、お姉さんがおられるところは知らせていただけたらと思います。田上先生同様、高学年の算数専科でお世話になります。本人もやる気でいっぱいですので、よろしく願います。